

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.3 * *

今漁期の漁獲物標本測定を実施

現在、4月上旬頃にふ化した群が主体。終漁は来週末頃が目安か

中央水産試験場
後志南部地区水産技術普及指導所

調査の概要

2012年5月16日に、今漁期の4月26日から5月16日までに採集していただいた島牧・寿都海域の漁獲物標本を指導所に持ち寄り、漁協と役場の皆様、指導所職員、水試職員で体長測定を実施しました。現在までの資源状況などについて検討しましたので、お知らせします。

- ・漁期前半は3月中・下旬にふ化した群を主体に漁獲物を構成。連休明け以降から4月上旬にふ化した群が適正サイズ（22～23mm以上）に
- ・5月16日時点で、26～27mmモード群と23mmモード群が漁獲の中心
- ・成長は0.7～0.8mm/日と例年並みで推移

今漁期も発生時期の異なる5～6群が漁獲対象となっており、これらふ化群の成長傾向を下図に示しています。前報で報告した初漁期調査（4月25日）で主群とみなした3月中旬頃にふ化した群（図中の×）が、4月末頃より適正サイズに入りました。その後は、この群とそれ以前にふ化した群（図中の*）を中心に漁獲が進みましたが、連休明け頃からは、4月以降にふ化した群（図中の▲と■）が適正サイズに入り、漁獲の中心は徐々にこれらの群に移行しています。今週に入ってから漁獲物にはさらに次のふ化群（図中の◆）が混じるようになり、適正サイズに達してきました。この群の豊度が高ければ、漁は今月末頃まで続く可能性もありますが、基本的には、▲と■の群が今後の漁の軸になるとみられ、これらが30mm台後半に達する来週末頃には、漁が次第に薄くなっていくのではないかと考えられます。

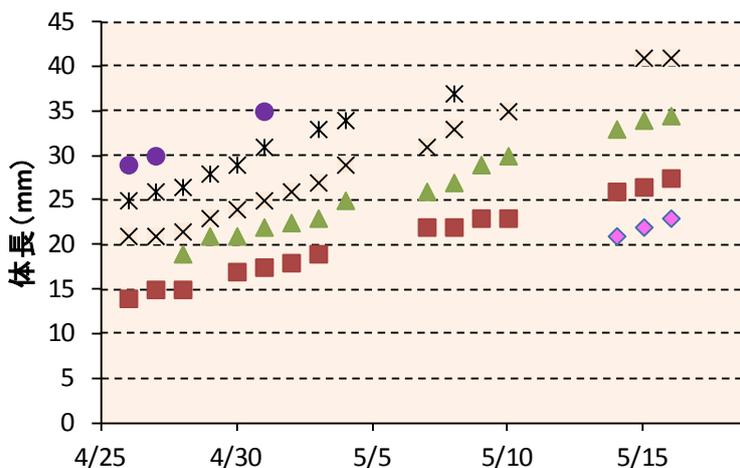


図 体長組成のモードの変化